

『放課後子ども教室』

放課後子ども教室だより No. 14

発行：県北教育事務所 2014. 2. 18

川俣町たのしい教室訪問

放課後子ども教室訪問

川俣町のたのしい教室では、事業の活性化、充実のために新たな取り組みを始めました。飯坂たのしい教室では、福島大学と連携し、大学生が子ども教室の活動に参加することになりました。また、震災の影響で学校を利用した活動ができない川俣たのしい教室と川俣南たのしい教室では、土曜日に保健センターに場所を移して教室を開催しました。それぞれの取り組みを紹介します。

飯坂たのしい教室

川俣町（1月22日）

飯坂たのしい教室は、飯坂公民館の和室を利用して実施しています。教室に大学生が入ってくると、さっそく子どもたちによる大学生の取り合いが始まりました。すぐに大学生とうちとけ合い、一緒に宿題に取り組みました。大学生に励まされ子どもたちはいつもより熱心に学習に取り組みました。宿題が終わった子どもたちは、早速大学生を外に誘い出し、一緒に鬼ごっこを楽しみました。北風にも負けず子どもたちも大学生も元気いっぱい活動していました。大学生の参加が、子どもたちの活動意欲につながり、活動の活性化につながると思われます。これからの取り組みに期待します。



川俣・川俣南たのしい教室

川俣町（1月25日）

川俣町保健センターの和室にて「団子差し」を実施しました。まずは、指導員に教えてもらいながら折り紙で飾りを作りました。次に、色とりどりの団子をまるめました。そして、飾り、団子の順にみずきの枝に飾り付けていきました。華やかな団子差しができあがり、子どもたちは大満足でした。最後に団子差しの“いわれ”についてお話があり、余った団子の試食を行いました。帰りには団子差しの枝を各自が持ち帰りました。子どもたちの笑顔があふれる貴重な体験活動となりました。これからもこのような活動が継続されることを期待します。

